

公益財団法人群馬県スポーツ協会

平成30年度事業報告

I 生涯スポーツの振興に関する事業

1 スポーツの普及啓発に関する事業

(1) 健康スポーツ指導者バンク運営事業

少子高齢化や社会の急激な変化に伴い、県民のスポーツに対するニーズも高度化・多様化をしている。年齢や体力等に応じたスポーツの指導ができる人材の育成及び資質向上を目的とする研修会・講習会を開催するとともに、地域、職域等のニーズに応じた指導者を派遣しスポーツの指導を行うことで、県民の健康に対する意識の高揚と健康の保持増進を図った。

ア) 健康・体力づくり巡回指導

市町村・各教育委員会等へスポーツ指導者の派遣事業を紹介し、地域や職場並びにスポーツ愛好団体等のニーズに応じた健康スポーツ指導者バンク登録者を派遣した。

○健康スポーツ指導者バンク登録者 117人
○巡回スポーツ指導 県内各地 741会場 30,055人
○健康スポーツ指導者指導実績 県内各地 10,632会場 170,270人

イ) 健康スポーツ指導者養成講習会

健康スポーツ指導者を養成するため、18歳以上の一般県民の中で健康スポーツ指導者を志す者や現指導者を対象に4日間（理論8時間・実技16時間）のカリキュラムで講習会を開催し資質向上を図った。

期 日 平成31年1月26日（土）・27日（日）、2月2日（土）・3日（日）
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 52人

ウ) 健康スポーツ指導者研修会

健康スポーツ指導者バンク登録者の資質向上を図るとともに、レクリエーションインストラクター養成講習会受講者の現場実習の履修単位として開催した。

期 日 平成30年7月7日（土）
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 50人

(2) 生涯スポーツ普及事業

健康・体力づくりのスポーツ指導者及びスポーツ愛好者、生涯スポーツ関係団体を対象に楽しめるニュースポーツを紹介するとともに、生涯スポーツ関係組織との連携を図り、生涯スポーツの普及・推進を図った。

ア) 生涯スポーツ講習会

期 日 平成30年8月26日（日）
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 52人

(3) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

地域に根ざしたスポーツクラブを育成し、県民が日常の中で継続してスポーツを行う環境を整備するとともに、明るく元気な地域社会づくりを推進するため、また、全市町村に少なくとも一つはクラブを育成するという目標に未育成町村解消に向けて実績豊富なクラブアドバイザーを専門スタッフとして配置するとともに、地域の実情を把握するため現地に出向いてヒアリング等を行った。

ア) 総合型地域スポーツクラブ支援事業

県内の総合型地域スポーツクラブの円滑な活動及び設立に向けた取り組みの活性化を図ることを目的とした群馬県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会が組織されている。その組織を育成することは本協会の目的である生涯スポーツの推進に寄与することに繋がると考えることからその運営に対し支援・連携をした。

○県内総合型スポーツクラブ育成状況
クラブ数 25市町村 42クラブ
育成率 71.4% (25/35市町村)

2 スポーツの機会を提供する事業

(1) スポーツ体験事業

本県スポーツ人口の底辺拡大を図るため、県内の小学生を対象にスポーツをする機会を提供し、体を動かすことの爽快感、楽しさを味わってもらうための教室を開催した。

ア) チャレンジスポーツ教室

加盟競技団体18団体、加盟地域団体4団体 参加者数 1,595人

イ) プロスポーツ選手等との交流教室

○群馬銀行グリーンウイングス

期 日 平成30年4月21日(土)

会 場 GBスポーツセンター

参加者数 118人

○渡部絵美スケート教室

期 日 平成31年1月6日(日)

会 場 県総合スポーツセンター アイスアリーナ

参加者数 56人

(2) 教室・公開講座開催事業

県民に誰でも気軽にスポーツに触れる機会を提供することで、スポーツの楽しさと汗をかく爽快感を味わい、健康・体力の保持増進を図るとともにスポーツを通じて仲間との交流の輪を広げることを目的に施設の特性を活かした各種教室、公開講座を開催した。

ア) テニス公開講座

期 日 平成30年5月2日～11月14日(水曜日 計14回)

会 場 県総合スポーツセンター テニスコート

参加者数 544人

イ) 初心者アイススケート教室

期 日 第1回目 平成30年12月18日(火)～21日(金)

第2回目 平成31年1月22日(火)～25日(金) 各4日間

会 場 県総合スポーツセンター アイスアリーナ

参加者数 第1回 83人、第2回 59人

ウ) エンジョイ健康教室

期 日 前期 平成30年4月18日(水)～ 7月27日(金) 47回

中期 平成30年9月5日(水)～ 11月28日(水) 38回

後期 平成30年12月5日(水)～平成31年2月22日(金) 40回

水曜日・金曜日の午前と午後 計125回

会 場 県総合スポーツセンター ぐんまアリーナ

参加者数 1,770人

(3) 総合スポーツセンター管理運営事業

利用者の立場に立ち、生涯スポーツの推進、県民体力の保持増進、競技力向上を目指し、健康で明るく豊かなスポーツ健康立県ぐんまの実現に向けて、多種・多様なニーズに応え、安全で衛生的、省エネ環境に配慮した施設を提供するための、管理運営を実行した。また、この施設の設置目的を達成するため、管理運営上の基本方針、環境保護策等を的確に把握し、県内唯一のスポーツ団体として、いかなる社会状況下に置いても、県民へのサービス向上を第一に、総合的な実行性を持って取り組んだ。

ア) 管理運営施設

県総合スポーツセンター、本館、ぐんまアリーナ、ぐんま武道館、弓道場、サブアリーナ、アイスアリーナ、テニスコート、ふれあいグラウンド、宿泊棟、スポーツ資料館、その他の附属施設

イ) 施設の活用

管理運営施設は、その設置目的である県民の体力増進、競技力の向上及びスポーツの普及振興に資するように、利用促進を図るとともに、大規模なスポーツイベント等の受け入れや実施事業を積極的に行い、効果的な施設の活用を図った。

○大規模大会の利用状況 (65大会)		
4月5日	平成30年度群馬大学入学式	3,000人
14日～15日	ユネスコ杯ドッジボール選手権国際親善大会	1,540人
15日	県ダンススポーツ連盟ダンススポーツ大会	1,050人
21日～22日	第53回県空手道選手権大会	970人
29日	県空手道連盟第17回空手道フェスティバル	450人
30日	関東甲信越前期競技ボールルームダンス大会	1,600人
5月2日	昌賢学園親睦スポーツ大会	1,430人
3日～5日	第1回東日本社会人バスケットボール大会	1,000人
3日～26日	県高校総合体育大会各種競技会	5,310人
4日～5日	育柔杯争奪少年柔道大会	1,600人
6日	第29回県スポーツ少年団空手道交流大会	1,500人
6月1日～3日	平成30年度関東高等学校女子バレーボール大会	1,800人
8日～10日	平成30年度関東高等学校体操競技大会	800人
17日	県剣道連盟全国道場対抗県予選大会	1,700人
17日	第37回関東ブロック少競技別交流大会	390人
23日～24日	第47回関東ろう者体育大会	220人
7月7日	第8回北関東スポーツ吹矢大会	1,240人
16日・21日	前橋市中体連総合体育大会(バレー・バスケ)	2,040人
21日～22日	第58回関東七県対抗剣道大会	760人
28日	平成30年度県中学校総合体育大会開会式	350人
28日～30日	平成30年度県中学校総合体育大会各種競技会	3,140人
8月5日～8日	第48回関東中学校ソフトテニス大会	1,310人
6日～9日	第48回関東中学校バスケットボール大会	1,700人
11日～12日	第28回全日本小学生ドッジボール選手権大会	1,800人
15日	平成30年度群馬県戦没者追悼式	1,900人
19日～21日	第3回月刊バスケットボールCUP	1,900人
25日	第33回富士スバルカップミニバス大会	1,500人
26日	第21回群馬県小学生バンドフェスティバル	2,900人
9月1日	第47回群馬県レクリエーション大会	950人
8日	関東ママさんバレーボールことぶき大会	2,100人
16日	関東甲信越競技ダンス選手権大会	1,200人
17日	県マーチングバンド・パトントワリングフェスタ	1,420人
19日～20日	県民スポーツ祭G・Gペア交流大会	2,250人
10月6日～7日	第29回群馬県私立大学スポーツ大会	1,600人
6日～7日	リレー・フォー・ライフ・ジャパン2018ぐんま	6,000人
8日	第33回県スポーツ少年団ソフトテニス交流大会	1,300人
20日～21日	第11回上毛新聞社旗争奪高校剣道大会	2,200人
21日	関東甲信越競技ダンス大会	520人
25日	ぐんまねんりんピック2018	2,880人
11月4日・11日	第56回群馬県県民体育大会秋季大会	4,750人
17日	第5回ぐんま武道フェスティバル	580人
17日	県アイスホッケー連盟会長杯ちびっ子大会	600人
23日	第12回県バスケットボール中学生都市選抜大会	1,400人
25日	県スポーツ協会わくわく運動プロジェクト	3,000人
25日	ぐんまオープンジュニアトーナメント	500人
12月1日～16日	県テニス協会ぐんまオープンジュニアトーナメント	1,000人
2日	第8回ジュニアキックボクシング関東選手権大会	550人
8日～9日	県中体連卓球部チャレンジリーグ	1,000人
15日～16日	前橋市バスケットボール協会前橋市長杯	950人
24日	県オープンドッジボール選手権	1,080人
1月5日	ぐんま野球フェスタ2019	1,300人
12日～13日	県中体連ソフトテニス部関東中学校インドア大会	500人
14日	県スポーツ協会わくわく運動プロジェクト	1,320人
24日～27日	第7回関東高等学校ボクシング選抜大会	450人
27日	県空手道連盟第11回県道場対抗空手道大会	1,500人
2月9日	第72回上毛かるた競技県大会	1,170人
10日	第29回東日本如月剣道大会	3,000人
10日～11日	東日本少年柔道大会	1,900人
11日	第39回群馬県なわとび競技大会	4,600人

23日	第20回県マーチングバトンスプリング	900人
3月9日	第28回ミルクカップドッジボール選手権大会	1,840人
16日～17日	浅田真央サックスツアー群馬公演	5,100人
16日～17日	第39回東日本中学校選抜剣道大会	4,400人
22日	平成30年度群馬大学各位記授与式	3,000人
27日	2019群馬チャレンジカップU-13開会式	2,130人

ウ) 利用者数

平成30年度利用者数は、ぐんまアリーナ297,357人、ぐんま武道館365,719人、サブアリーナ122,998人、本館45,811人、アイスアリーナ44,878人、テニスコート(会議室を含む)143,459人、ふれあいグラウンド78,159人、宿泊室4,679人、仮設アーチェリー場2,414人の合計1,105,474人であった。
月別等の内訳は別表(26頁)のとおりである。

エ) 利用料金の収納

施設利用料については、県の条例・規則に基づき利用者から徴収し、県の収入事務取扱要領に基づき適正な経理処理を行い、その全額を利用料金収入として計上した。平成30年度の利用料金収入は72,034,950円であり、内訳は別表(27頁)のとおりである。

オ) 県総合スポーツセンター施設無料開放

県民が、スポーツを身近なものとして日常生活に取り入れられるように、県総合スポーツセンター施設の無料開放を次のとおり実施した。

①アイスアリーナ以外の施設

・県民スポーツの日(毎月10日)	利用者数	10,609人
・県民の日(10月28日)	利用者数	752人

②アイスアリーナ

・開館初日(10月1日)	利用者数	121人
・県民の日(10月28日)	利用者数	481人
・開館期間中の毎月第2・第4土曜日(小中学生対象)	利用者数	1,920人

カ) 施設設備の維持管理

施設及び設備は、適正な保守管理、業務の委託等により、円滑な運営と維持管理に万全を図った。

○大規模工事

県スポーツ振興課の協力のもと、下記工事を実施した。

- ・ぐんまアリーナ中央監視システム更新工事
- ・ぐんまアリーナフロア照明器具更新工事
- ・サブアリーナ卓球室空調設備移設工事
- ・ぐんま武道館弓道場囲いフェンス等改修工事
- ・ぐんまアリーナ空調設備冷却塔部品交換修繕
- ・テニスコート補修工事
- ・サブアリーナトレーニングマシンベルト等交換修繕
- ・アイスアリーナブライン液購入

キ) 季刊誌の発刊

当施設季刊誌「Sports Season」を年4回季節ごとに作成し、利用者や来館者に対して施設の利用方法や大会予定、各種教室の紹介等を行った。

・発行部数 N0.29号～N0.32号 各号 4,000部

(4) 伊香保リンク管理運営事業

伊香保リンクの「設置目的(県民の体力増進・スケート及びアイスホッケーの競技力向上並びに普及・推進を図り、スポーツだけでなく地域の活性化に不可欠な施設)」を最大限に発揮できるように、総合的な実行性を持って取り組んだ。

ア) 管理運営施設

県総合スポーツセンター伊香保リンク、屋外400mリンク、屋内第1リンク、屋内第2リンク、リンクハウス、審判棟、管理棟、競技運営棟

イ) 施設の活用

管理運営施設は、その設置目的である県民の体力増進、競技力の向上及びスポーツの普及・推進に資するように、利用促進を図るとともに、伊香保リンクを地域活性化の資源とすべく県、渋川市等の関係団体と積極的に連携してイベント等を実施するなど効果的な施設の活用を図った。

○施設の使用期間

屋内第1リンク	平成30年4月1日(日)～	4月22日(日)(延長営業)
	平成30年9月1日(土)～平成31年3月31日(日)	
屋内第2リンク	平成30年10月1日(月)～平成31年2月28日(木)	
屋外リンク	平成30年11月1日(水)～平成31年2月28日(木)	

○施設の営業時間

午前9時から午後10時まで

○大規模大会の利用状況(7大会)

10月20日～21日	群馬少年親善アイスホッケー大会	2,420人
11月10日～11日	伊香保カップアイスホッケー大会	1,770人
11月23日～25日	全日本学生スピードスケート選手権大会	2,706人
2月23日～24日	群馬少年親善アイスホッケー大会(低学年)	2,670人
3月9日～10日	群馬少年親善アイスホッケー大会(高学年)	3,629人
3月16日～17日	関東甲信越社会人アイスホッケー大会	230人
3月24日～25日	伊香保スプリングカップアイスホッケー大会	1,171人

ウ) 利用者数

平成30年度利用者数は、屋内第1リンク14,783人、屋内第2リンク14,412人、屋外400mリンク11,755人、個人利用8,507人、リンクハウス5,524人の合計54,981人であり、平成30年度の目標であった5万人を突破することができた。

なお、月別等の内訳は別表(28頁)のとおりである。

エ) 利用料金の収納

施設利用料については、県の条例・規則に基づき利用者から徴収し、県の収入事務取扱要領に基づき適正な経理処理を行い、その全額を県へ納付した。

平成30年度の県へ納付した額は15,612,170円であり、内訳は別表(28頁)のとおりである。

オ) 県総合スポーツセンター伊香保リンク施設無料開放

県民が、スポーツを身近なものとして日常生活に取り入れられるように、県総合スポーツセンター伊香保リンクの無料開放を次のとおり実施した。

今後、前橋の県総合スポーツセンターと無料開放日の統一を図りたい。

実施日 県民の日(10月28日)
場 所 屋内第1リンク
利用者数 253人

カ) 施設設備の維持管理

施設及び設備は、適正な保守管理、業務の委託等により、円滑な運営と維持管理に万全を図った。

○大規模工事

県スポーツ振興課との連携のもと、利用者目線を中心とした下記工事を実施した。

- ・リンクハウストイレ洋式化工事
- ・券売機設置
- ・厨房用配管漏水箇所改修工事
- ・冷却塔ファンモーター軸受及び冷水ポンプ改修工事水漏改修
- ・冷却塔配管等復旧保温工事
- ・機械室シャッター改修工事
- ・整氷車3号車・5号車修繕

- ・専用水道吐出配管改修工事
- ・屋外リンク地下通路・駐車場通路照明改修工事
- ・消防設備修繕

キ) 広報活動

伊香保リンクの一般開放日拡大に伴い、一般の方に広く周知するため渋川市及び渋川伊香保温泉観光協会等と連携した広報活動を次のとおり実施した。

①伊香保リンク見学会、体験会

期 日 平成30年9月4日、5日、6日、7日、11日、12日、13日、14日

会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク

参加者数 4 旅館16人

②チラシ等の配布

伊香保リンクのチラシ30,000枚、ポスター600枚、のぼり旗50枚を作成し伊香保温泉の各旅館及び観光、公共施設に設置をした。

さらに、伊香保リンクは地域の観光資源であることから、訪日外国客（インバウンド）を増やすため英語、台湾語のパンフレットも作成した。

また、施設の紹介や料金体系がわかるパンフレットも2,500部作成して、関東の大学スケート部へ送付し合宿の誘致を図った。

③ホームページの作成

利用者に必要な情報をわかりやすく閲覧していただくため、ホームページをリニューアルした。

その結果、閲覧数は19,770件となり、前年度と比較すると10,065件増加し利用促進に繋がった。

④デジタルサイネージ広告

大規模商業施設4箇所に一ヶ月間CM放映を実施した。

⑤のぼり旗の設置

伊香保の石段街や渋川伊香保温泉観光協会周辺、さらにロープウェイ等に伊香保リンクののぼり旗を設置し周知を図った。また、相乗効果を発揮するため前橋のアイスアリーナへも設置をした。

⑥伊香保リンクニュースの発行

伊香保温泉旅館や周辺観光施設などに伊香保リンクのタイムリーな情報を発信するため、「伊香保リンクニュース」を作成した。

発行日：11月16日、11月30日、12月14日、12月20日、12月27日、12月28日、
1月3日、1月18日、2月1日、2月17日、2月28日、3月22日

ク) 伊香保リンクを活用した地域活性化促進事業

伊香保リンクを積極的にPRするとともに、地域活性化の資源とするべく県、渋川市、関係団体が共同で次の事業を実施した。

①アクティビティー無料体験イベント（渋川市への委託事業）

期 日 平成30年8月4日、5日、11日、12日、18日、19日、25日、26日

会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク 屋外リンク

参加者数 1,022人

②伊香保リンクグランドオープンイベント

期 日 平成30年11月4日

会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク 屋外リンク、屋内第1リンク

参加者数 250人

③初心者スケート教室（渋川市への委託事業）

期 日 平成30年10月6日、13日、20日、27日、11月3日

会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋内第1リンク

参加者数 292人

④初心者アイスホッケー教室（渋川市への委託事業）

期 日 平成30年11月10日、17日、24日

会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋内第1リンク

参加者数 74人

- ⑤伊香保リンクまつり（渋川市への委託事業）
 - 期 日 平成30年12月29日
 - 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋外リンク・屋内第1リンク
 - 参加者数 2,200人
- ⑥伊香保リンクイルミネーション（一部渋川市への委託事業）
 - 期 日 平成30年12月21日～平成31年1月6日
 - 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋外リンク及び出入口
 - 時 間 午後4時から午後8時45分まで
- ⑦伊香保リンク感謝DAY
 - 期 日 平成31年2月17日
 - 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋外リンク・屋内第1リンク
 - 参加者数 516人
- ⑧岡崎朋美さん特別スケート教室in伊香保リンク（渋川市への委託事業）
 - 期 日 平成31年3月30日
 - 会 場 県総合スポーツセンター伊香保リンク屋内第1リンク
 - 参加者数 午前の部 43人 午後の部 51人

ケ) 利用者アンケートの実施

サービスを向上させるための取組で、年1回利用者が一番多い時期にアンケート調査を実施し、「お客様の声」を取りまとめそれらを業務に反映させる。

また、「うけたまわりボックス」をリンクハウス内に常設し利用者の要望等を取り入れる体制を整えた。

①うけたまわりボックス

リンクハウス内に通年でうけたまわりボックスを設置し利用者の要望把握に務め、改善を図った。

また、要望に対しての回答をリンクハウス内に掲示した。

②大規模アンケートの実施

より一層の利用者サービスの向上及び施設の安全の確保のため、次のとおり大規模アンケートを実施した。

調査期間 平成31年1月17日～2月17日

対象人数 112人

(5) スポーツ情報提供事業

各種スポーツ事業の紹介やスポーツに関する情報を本協会ホームページ及び刊行物等で発信することにより、スポーツ活動に対する理解やスポーツへの興味関心を高め、県民により多くのスポーツの機会を提供した。

ア) ホームページの運営

本協会の組織や各種事業の紹介、また国民体育大会やスポーツ少年団各種大会等の結果を掲載したり、各種スポーツ教室等の開催要項や県総合スポーツセンター各施設の利用情報を掲載するなど広く県民にスポーツの情報を発信した。

イ) 刊行物の発刊

刊行物として「ぐんまのスポーツ」、「年報」を発刊し、いずれの刊行物も無償で加盟団体及び関係団体に配布した。

①「ぐんまのスポーツ」事業紹介・各種大会の結果等 (年2回) 650部

②「年報」毎年の事業記録、事業報告や研究調査の成果等 (年1回) 600部

ウ) スポーツライブラリー

県総合スポーツセンタースポーツ資料館内にスポーツ情報提供コーナーを設置し、スポーツ図書等を定期的に購入して、県民に対し無料閲覧及び無料貸出等の情報提供サービスを行った。

3 青少年スポーツの健全な育成に関する事業

(1) 青少年スポーツ育成事業

スポーツ少年団活動を通じて、そこから生まれる喜びや楽しさが新たな感動を呼び起こし、さらには協調性や想像性など、生きるうえで基本となる豊かな情操を養う。また、スポーツを通じて社会のルールを学び相手を思いやる心を養うなど良き社会人への成長に結びつけることを目的に下記事業を実施した。

ア) スポーツ少年団大会開催事業

各種目を愛好するスポーツ少年団員を一堂に会し、技術の向上と競技の喜びを体験させるとともに、団員相互の親睦を図り、少年スポーツの健全な発展を目的として下記大会を実施した。

○第37回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 群馬県予選会
 期 日 平成30年5月5日(土)～6月24日(日)
 実施種目 軟式野球・空手道・バレーボール・ミニバスケットボール・
 バドミントン 計5競技
 会 場 県総合スポーツセンター その他県内各会場
 参加団員数 1,988人

○第54回群馬県スポーツ少年団大会
 期 日 平成30年7月28日(土)・8月4日(土)・5日(日)
 実施種目 サッカー・バレーボール・ミニバスケットボール・ソフトボール・
 卓球・柔道・剣道・レスリング 計8競技
 会 場 県総合スポーツセンター その他県内各会場
 参加団員数 4,630人

○群馬県スポーツ少年団競技別交流大会
 期 日 平成30年5月26日(土)～平成31年3月3日(日)
 実施種目 軟式野球・バレーボール・バドミントン・ソフトテニス・
 ソフトボール・柔道・スケート・スキー 計8競技
 会 場 県総合スポーツセンター その他県内各会場
 参加団員数 5,435人

○関東ブロックスポーツ少年大会
 期 日 平成30年8月10日(金)～8月12日(日)
 会 場 国立赤城青少年交流の家
 参 加 数 1都5県 40人

○スポーツ少年団全国・関東派遣事業

大会名	期 日	会場及び競技	参加者数
全国スポーツ少年大会	平成30年8月2日(木) ～5日(日)	茨城県行方市	5人
関東ブロックスポーツ少年団 競技別交流大会	平成30年7月21日(土) ～22日(日)	山梨県 軟式野球	21人
	平成30年7月27日(金) ～29日(日)	山梨県 (バレーボール・ミニバス ケットボール・バドミントン ・空手道：4競技)	92人
関東ブロックスポーツ 少年大会	平成30年8月10日(金) ～12日(日)	群馬県前橋市	4人
全国スポーツ少年団 バレーボール交流大会	平成31年3月28日(木) ～31日(日)	大分県 バレーボール	12人
全国スポーツ少年団 剣道交流大会	平成31年3月27日(水) ～29日(金)	山口県 剣道	8人

イ) スポーツ少年団顕彰事業

永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある単位団及び登録指導者を表彰した。

期 日 平成31年 2月17日 (日)
 会 場 県総合スポーツセンター ぐんま武道館大道場
 受賞者人数 群馬県表彰 優良単位団33団体 功労者54人
 日本表彰 市町村表彰 1市2町 功労者4人

ウ) スポーツ少年団指導者養成等事業

スポーツ少年団の育成指導にあたる指導者の資質向上と意識の高揚を図り、少年団活動におけるより一層の活性化を促進するため研修会・講習会を開催した。地域におけるスポーツ少年団活動の活性化を図るとともに、単位団及び地域の将来にわたる後継者の養成を目指し、日本スポーツ少年団リーダー制度に基づくジュニア・リーダースクールを開催した。

事業名		期日及び会場	参加者数
講習会・研修会	育成母集団研修会	平成30年 7月28日 (土) 安中市	45人
	ジュニア・リーダー スクール	平成30年 9月15日(土)～ 17日(月・祝) 国立赤城青少年交流の家	45人
	認定員養成講習会 (兼スポーツリーダー 養成講習会)	平成30年 8月 4日(土)～5日(日) 高崎健康福祉大学	189人
		平成30年 9月 1日(土)～2日(日) 高崎健康福祉大学	230人
認定員再研修会 (兼指導者研究大会)	平成31年 1月20日 (日) 県総合スポーツセンター	58人	

エ) スポーツ少年団フェスティバル

交歓・ゲーム活動を通して、団員相互の交流を図り、青少年のこころとからだを育てるとともに、それぞれの少年団や地域において活躍のできる中学生・高校生リーダーの育成を図った。

期 日 平成31年 2月17日 (日)
 会 場 県総合スポーツセンター ぐんま武道館大道場
 参加者数 442人

オ) 日独スポーツ少年団同時交流事業 (受入)

両国間の優れた青少年指導者・団員が、同期間に同人数を相互に交換 (派遣・受入) する同時交流を行い、スポーツ活動や民泊を取り入れ相互の文化・生活習慣を実際に体験することで、相手の国や文化を理解することや共通テーマに基づくディスカッション等により交流を深め、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的として、日独両国間の交流事業を実施した。

なお、平成30年度は、ドイツ団員の受入をした。
 期 日 平成30年 7月30日 (月)～8月 3日 (日)
 受入先 渋川市
 受入人数 10人

4 各種大会を通じ社会参加を促進する事業

(1) 社会参加促進事業

スポーツによって、年齢や障がいの有無に関係なく誰もが生きがいのある豊かな生活を営むことが出来る社会の創造を目指し、下記の2つの大会を受託事業として開催した。

ア) ぐんまねりんピック2018 (県長寿社会づくり財団からの受託)

スポーツや文化活動を通じて、高齢者の健康の保持増進と交流を図り、県民総スポーツの輪を広げるとともに、生きがいづくりを進め、ふれあいと活力ある長寿社会づくりを推進した。

期 日 平成30年10月25日 (木)
 会 場 県総合スポーツセンター その他県内各会場
 対 象 県内在住の昭和35年4月1日以前に生まれた人で、大会参加に支障のない健康な者
 種 目 ゲートボール、ペタンク、ソフトボール、テニス、ソフトテニス、卓球、グラウンドゴルフ、弓道、剣道、水泳、ソフトバレーボール、マラソン、なぎなた、太極拳、囲碁、将棋、健康マージャン
 参加者数 1,766人

イ) 群馬県障害者スポーツ大会2018 (県障害者スポーツ協会からの受託)

障がい者がスポーツを通じて交流を深めながら、体力の維持増強と障がい者スポーツの発展を図るとともに、県民の障がい者に対する正しい理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加を促進した。

期 日 平成30年9月16日 (日)・30日 (日)
 会 場 県立ふれあいスポーツプラザ
 対 象 小学校1年生以上の身体障がい者
 種 目 陸上、水泳、デモンストレーション
 参加者数 1,227人

II 健康増進・体力向上に関する事業

5 県民体力づくり相談に関する事業

(1) 県民体力づくり相談事業

現代の生活環境では運動不足や食生活の変化、日常生活のストレスの増加により生活習慣病などの問題を抱える人が増えている。そのため、県民が健康で快適に生活できるように、安全で無理のない運動・スポーツ指導を行い、健康の保持増進・体力の向上を図れるよう「県民体力づくり相談事業」として、県民のスポーツニーズ(レベル)に応じた各種測定・メディカルチェック及び栄養指導を実施した。

ア) メディカルチェック・体力測定及び栄養指導の実施

健康体力測定では理学療法士、臨床検査技師及び本協会のスポーツ医科学委員会に所属する内科・整形外科の日本スポーツ協会公認スポーツドクター等の専門家との連携及び協力により医科学的な検査を行った。さらに、栄養面では栄養調査結果から管理栄養士が、個々の食生活についてアドバイス・指導を行った。これらの結果に基づいた運動プログラムの作成や助言・指導することで県民の健康・体力づくりへの関心をより一層高めるとともに医科学面からも体力の向上や健康的な生活ができるようサポートを実施した。

○県民へのメディカルチェック・体力測定等の実績

測定の種類等	実施日数	測定者数	一般	競技者
健康・体力測定	14日	143人	6人	137人
新体力測定	15日	1,048人	960人	88人
体力測定	3日	40人	0人	40人
筋力測定	12日	146人	2人	144人
最大酸素摂取量測定	3日	4人	3人	1人
合 計	47日	1,381人	971人	410人

- イ) メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドローム予防のための運動指導
企業や高齢者団体に対して体力測定を積極的に行い、日常生活の中で身体活動をより一層取り入れ、メタボリックシンドローム、ロコモティブシンドロームの予防を図り、健康・体力の保持増進が図られるよう運動指導を行った。

出張新体力測定 年6回 延参加者 184人

6 スポーツ医科学の普及に関する事業

(1) スポーツ医科学普及事業

県民が生涯にわたり、安全で効果的にスポーツを行うことができるよう、薬物に対する意識を高め、スポーツ障（傷）害への対処方法を指導し、健康状態に応じたスポーツを行うことができるよう下記事業を実施した。

ア) アンチドーピング推進活動事業

国体選手を中心とした健全なスポーツ活動の推進を目的に、本県選手の薬物使用・誤用への認識を高め、ドーピング防止教育・啓発活動を積極的に実施した。ドーピング防止の教育・啓発活動のための資料収集と情報提供、選手・指導者を対象としたドーピング関係書類の配布、アンチ・ドーピング推進班による会議の開催及び研修事業参加、国体結団式での選手・監督等への直接指導、ドーピングに関する問い合わせへの対応を行い、ドーピング防止の教育・啓発活動に努めた。

○アンチ・ドーピング指導

期 日 平成30年8月21日（火）・8月31日（金）・9月20日（木）
平成31年1月4日（金）・23日（水）
会 場 県総合スポーツセンター
対 象 国民体育大会 本県代表監督及び選手等

イ) スポーツドクター養成研修事業

スポーツ愛好者及び競技選手がスポーツ障（傷）害の予防や、効果的に競技力向上が達成できるように、日本スポーツ協会公認スポーツドクターを養成する研修会を県医師会・医療機関と連携し実施した。また、県内のスポーツドクターの資質向上を図るため、スポーツドクター協議会と連携し、県内で開催する各種大会へ医事協力、スポーツドクター会員の定期的研修会の開催、県内地域で講演会講師の派遣等を実施し公認スポーツドクターの活動の充実を図った。

○スポーツドクター研修会

期 日 平成30年4月21日（土）
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 86人

ウ) トレーナー養成講習会事業

スポーツ愛好者及び競技選手の健康管理、障害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等の指導・助言を行い競技力向上対策を効果的に行うため本協会認定アスレティックトレーナー養成講習会を実施した。

○アスレティックトレーナー養成講習会

期 日 平成30年11月15日（木）・16日（金）
会 場 県総合スポーツセンター
参加者数 15人

エ) スポーツ医事相談事業

健康の保持増進やスポーツに関わる障害等の早期発見、早期治療及びその予防等について、電話等により相談を受けて、県内の公認スポーツドクター医療機関を紹介した。また、スポーツ医科学に関する講演会を日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー、医師、大学教授、スポーツ医科学委員会等の協力のもと、各市町村11会場において、「スポーツ医科学講演会」を実施した。

No	市町村名	期 日	講 師	演 題	参加者数
1	邑楽町	平成30年6月30日(土) 17時30分～19時30分	日本スポーツ協会 公認スポーツ栄養士 飯野直美	熱中症予防	55人
2	富岡市	平成30年7月6日(金) 19時00分～21時00分	慶友整形外科病院 整形外科部長 ・慶友スポーツ医学センター長 古島弘三	指導者の暴言、暴力の根絶、 正しい指導法について (子どもに楽しみながら、 かつ長く競技を続けてもらうに は?)	85人
3	館林市	平成30年9月26日(水) 19時00分～21時00分	高崎健康福祉大学 保健医療学部 理学療法学科准教授 中川和昌	中高年の腰痛・膝痛予防と 健康づくり (ロコモティブシンドローム予防の実際)	72人
4	前橋市	平成30年10月12日(木) 18時30分～20時30分	ぐんまスポーツ整形外科 理学療法士 武井健児	中高年のための体幹トレーニング	92人
5	藤岡市	平成30年10月19日(金) 19時00分～21時00分	管理栄養士 野口泰子	熱中症対策と食事	39人
6	沼田市	平成30年10月22日(月) 19時00分～21時00分	原町赤十字病院 理学療法士 唐沢和彦	腰痛・膝痛予防について	81人
7	長野原町	平成30年11月14日(水) 18時30分～20時30分	原町赤十字病院 理学療法士 唐沢和彦	傷害予防のストレッチ	47人
8	桐生市	平成30年12月10日(月) 19時00分～20時30分	群馬大学 非常勤講師 福地豊樹	暴力やハラスメントのないスポー ツ指導 ～グッドコーチになるために～	68人
9	渋川市	平成31年1月31日(木) 19時00分～20時30分	上牧温泉病院 理学療法士 金城拓人	子どもから大人まで行える 体幹トレーニングとストレッチ	78人
10	中之条町	平成31年2月4日(月) 19時00分～21時00分	原町赤十字病院 理学療法士 唐沢和彦	子どもから大人までできる 体幹トレーニングとストレッチ	29人
11	南牧村	平成31年2月23日(土) 14時00分～15時30分	上牧温泉病院 理学療法士 金城拓人	今からできる膝痛・腰痛予防	99人
11市町村					745人

Ⅲ 競技力向上を推進する事業

7 国民体育大会への選手等選考及び派遣に関する事業

(1) 国民体育大会等派遣事業

国民体育大会本大会及び関東ブロック大会において、本県選手が活躍することは、県民へ感動と活力を与えるとともに、スポーツへの意識を高め、各種スポーツの普及振興にも寄与すると考える。本県選手団が活躍するため、競技力の高い代表選手の選考及び開催地への派遣等の諸事業を実施した。

ア) 選手・監督の選考、選手団等の派遣

各加盟競技団体の予選会を通過した優秀な選手の参加条件を確認後、国民体育大会推進委員会で選考し、本県代表として派遣した。

イ) 激励活動

国民体育大会へ出場する本県選手団を県当局と連携し、激励した。

大会名及び事業名	期日	会場及び競技名
第73回国民体育大会 関東ブロック大会	平成30年6月9日(土) ～12月23日(日)	茨城県下 カヌー競技ほか33競技 選手・監督 727人
〃 本大会会期前	平成30年9月9日(日) ～9月17日(月)	福井県下 水泳競技ほか4競技 選手・監督 93人
〃 監督会議・結団式	平成30年9月20日(木)	県総合スポーツセンターぐんま武道館 〃 第1研修室
〃 本大会	平成30年9月29日(土) ～10月9日(火)	福井県下 陸上競技ほか34競技 選手・監督 298人
第74回国民体育大会 冬季大会スケート・アイスホッケー	平成31年1月30日(水) ～2月3日(日)	北海道 スケート・アイスホッケー競技 選手・監督 58人
〃 冬季大会スキー	平成31年2月14日(木) ～2月17日(日)	北海道 スキー競技 選手・監督 44人

ウ) 成績

第73回国民体育大会成績

天皇杯 32位(得点 846.0点) 皇后杯 21位(得点 591.5点)

第74回国民体育大会冬季大会成績

天皇杯 14位(得点 104.0点) 皇后杯 15位(得点 49.0点)

8 スポーツ指導者養成に関する事業

(1) 指導者養成事業

県民が、スポーツを安全で、正しく、楽しくできるよう、指導・助言ができる公認スポーツ指導員の講習会を実施した。

ア) スポーツ指導員養成講習会

地域スポーツクラブやスポーツ教室等において、参加者の年齢や性別など対象者に合わせた競技別の技術指導等にあたる者を養成する事業であり、日本スポーツ協会がNHK通信講座を活用して共通科目を担当し、本協会が専門科目を委託事業及び独自事業として実施した。

また、講習会・研修会を通じ、自己の役割や責任及び人道的問題(指導者の競技選手に対する暴力やセクシャル・ハラスメント)について指導をした。

○公認指導員養成講習会(専門科目)

対象競技団体(委託) ソフトテニス競技、アーチェリー競技、なぎなた競技
受講者数(委託) ソフトテニス競技29人、アーチェリー競技7人、
なぎなた競技14人

対象競技団体（独自） 空手道競技
受講者数（独自） 空手道競技17人

○公認上級指導員養成講習会（専門科目）
対象競技団体（委託） 弓道競技
受講者数（委託） 弓道競技15人

対象競技団体（独自） 空手道競技
受講者数（独自） 空手道競技22人

○公認上級指導員養成講習会（共通科目）
期 日 平成30年12月15日（土）・16日（日）
会 場 県総合スポーツセンター 本館3階 「第1研修室」
受講者数 38人

イ) スポーツ指導者研修会

公認スポーツ指導者制度の有効期限は4年間であり、4年毎に更新するための義務研修として開催するとともに、スポーツに関する最新の知識や情報を獲得し、指導場面で実践できるような資質を向上させることを目的として年2回実施した。

○第1回スポーツ指導者研修会
期 日 平成30年8月5日（日）
会 場 高崎健康福祉大学8号館206大講義室
演 題 講演Ⅰ：「スポーツ傷害予防とその処置」
講演Ⅱ：「スポーツと食事」
参加者数 111人

○第2回スポーツ指導者研修会
期 日 平成31年2月3日（日）
会 場 高崎健康福祉大学8号館206大講義室
演 題 講演Ⅰ：「アンチ・ドーピングについて」
講演Ⅱ：「スポーツ傷害予防とその処置」
参加者数 88人

ウ) スポーツ指導者協議会育成事業

県内の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者が共通認識を持ち、資質向上及び指導力向上を図ることを目的とした群馬県スポーツ指導者協議会が組織されている。その組織を育成することは本協会の目的である指導者の育成に繋がると考えることからその運営に対し支援、助成をした。

9 競技力向上・選手強化対策に関する事業

(1) 競技力向上対策事業

本県が高い水準で安定した競技力を確保し、国際大会や全国大会において、優秀な成績を収めるため、経済的基盤の整備や指導者の確保、一貫指導体制の確立等に取り組み、競技力向上の推進を図った。各事業別の補助金執行状況は別表(29頁)のとおりである。

ア) 団体対策推進事業

競技団体等の強化・育成事業の推進及び各競技団体・学校スポーツ団体の強化体制や強化組織の育成と、競技力の向上を図るために団体対策費として、各競技団体に補助金を交付し、内訳は別表(30頁)のとおりである。

- ①競技団体強化学業（国体正式競技団体）
- ②高体連強化学業（県高等学校体育連盟）
- ③中体連強化学業（県中学校体育連盟）
- ④関東ブロック突破等対策プロジェクト事業
（国体正式競技団体、県高等学校体育連盟）

イ) ぐんまスーパーキッズプロジェクト事業

本県競技力水準の一層の向上を図るため、体力・運動能力に優れたジュニア選手を早期に発掘し、適正な育成プログラムを計画的・継続的に実施することにより、日本、世界へ通用するトップレベルの選手の育成を目指し、事業を実施した。

実施競技及び人数

スキー競技27人・陸上競技25人・水泳競技21人・空手道競技36人
 ボウリング競技30人・ゴルフ競技31人・スケート競技23人
 レスリング競技16人・馬術競技17人・自転車競技10人 合計236人

選考会

期 日 平成30年 5月27日 (日)
 会 場 県総合スポーツセンターぐんまアリーナ
 参加者数 153人

認定式

期 日 平成30年 6月24日 (日)
 会 場 県総合スポーツセンターぐんま武道館 第1道場
 認定者数 93人

研修会

期 日 平成30年12月 1日 (土)
 会 場 県総合スポーツセンターぐんま武道館 大道場
 参加者数 144人

ウ) 拠点施設活用事業

公共スポーツ施設を活動拠点として、ジュニア育成等を中心とした競技スポーツクラブへ経費の一部を補助し、全国トップクラスの競技者の育成を目的とし、事業を実施した。

団体名	拠点施設名	団体名	拠点施設名
県スケート連盟	県総合スポーツセンター、伊香保リンク	県アイスホッケー連盟	県総合スポーツセンターアイスアリーナ、伊香保リンク
県スキー連盟	尾瀬ほたか高原スポーツパーククロスントリーコース	群馬陸上競技協会	県立敷島公園補助競技場
県水泳連盟	県立敷島公園水泳場	県ホッケー協会	みなかみ町月夜野緑地施設内運動広場
県ボクシング連盟	安中市体育館、伊勢崎工業高校ボクシングジム、高崎工業高校ボクシングジム	県レスリング協会	邑楽町立南中学校
県ソフトテニス連盟	県総合スポーツセンターテニスコート、あかぼり運動公園テニス場	県弓道連盟	伊勢崎市あずま弓道場
県ラグビーフットボール協会	下豊岡グラウンド、八千代グラウンド、島村グラウンド	県アーチェリー協会	県総合スポーツセンター仮設アーチェリー場、前橋市民体育館弓道場
県銃剣道連盟	太田市新田武道館		

エ) ジュニア指導者派遣事業

ジュニア選手等の活動場所である運動部やクラブへ、情熱ある専門的指導者を派遣し、タレントの発掘・育成及び、一貫した強化体制の構築を図り、全国トップレベルのジュニア選手を育成することを目的とし、事業を実施した。

団体名	活動場所	指導種目	指導者名
県スケート連盟	孺恋高校	スケート	阿部 友香
県スキー連盟	片品村	スキー	飯塚 剛
群馬陸上競技協会	前橋育英高校他	陸上(投擲)	高橋 輝
県アーチェリー協会	高崎商科大学附属高校	アーチェリー	大塚 謙史

オ) 一貫指導構築事業

全国・世界に通用する群馬県トップレベルの選手育成を目的に、各競技ごとの一貫指導体制を構築し、本県の競技力向上を図った。

実施競技団体名		
県バレーボール協会	県ソフトテニス連盟	県ラグビーフットボール協会
県体操協会	県バドミントン協会	県山岳連盟

カ) 中学生特別強化事業

県中学校体育連盟に競技部が設置されていない競技団体を対象として、積極的にジュニア強化対策を推進している競技団体に対してジュニア強化事業費を補助し、全国トップレベルのジュニア選手を育成した。

キ) マネジメントコーチ推進事業

各競技団体にマネジメントコーチを適正に配置し、全国・世界レベルの競技者を育成する。また、各競技団体の強化組織体制を整備し、競技力向上対策の企画と推進により競技力の向上を図った。

○委嘱式

期 日 平成30年4月7日(土)
 会 場 県総合スポーツセンター
 委嘱者数 40人

○検討会議

期 日 平成31年2月9日(土)
 会 場 県総合スポーツセンター
 参加者数 24人

ク) スポーツセミナー

各競技団体、学校スポーツ団体並びに地域団体の中心的役割を果たしている指導者を対象に、指導力向上研修、スポーツ医科学研修等、実習を含めたスポーツセミナーを実施し、指導者の資質向上を図った。

期 日 平成30年12月8日(土)
 会 場 県総合スポーツセンター
 演 題 「コンディショニング作り」
 参加者数 155人

ケ) 中央指導者招聘事業

中央から優秀で実績のある講師を招聘して研修会を開催し、スポーツ指導者の養成・支援を行い、本県競技力水準の一層の向上を図った。

実施団体名		
県アイスホッケー連盟	県体操協会	県バドミントン協会
県スキー連盟	県レスリング協会	県弓道連盟
群馬陸上競技協会	県自転車競技連盟	県ボウリング連盟
県水泳連盟	県ソフトテニス連盟	県高等学校体育連盟
県テニス協会	県ソフトボール協会	県中学校体育連盟

コ) 優秀指導者現場研修事業

全国の優秀指導者が指導する現場で研修することにより、本県各競技団体の指導者の養成・資質向上を図った。

実施競技団体

県アイスホッケー連盟、群馬陸上競技協会、県水泳連盟、県レスリング協会
 県自転車競技連盟、県ソフトテニス連盟、県バドミントン協会、県カヌー協会

サ) 全国等競技力分析事業

国民体育大会本大会や冬季大会、関東ブロック大会の開催地に、選手強化委員や支援スタッフを派遣することにより、全国等の競技レベルを分析し、本県の競技力レベルの向上に役立てた。

大会名	選手強化委員	支援スタッフ
国体関東ブロック大会	1人	9人
国体本大会	5人	15人
国体スケート・アイスホッケー競技会	1人	1人
国体スキー競技会	1人	1人
合計	8人	26人

シ) 強化指定事業

国民体育大会において、優秀な成績を収めるため、競技団体・中体連・高体連・企業体等と連携を図りながら競技力向上を目指し、中学校・高等学校及び企業体等の優秀選手（運動部）を指定し、重点的強化事業の推進を図った。

平成30年度群馬県強化指定選手・運動部（冬季競技） 37人
 平成30年度群馬県強化指定選手・運動部（本大会競技） 275人 9部

ス) スポーツ医科学活用事業

競技力向上対策事業全般の評価・分析及び結果のフィードバック等を担当するスポーツ医科学スタッフの確保と活用を図るために、県総合スポーツセンターを医科学研究拠点として位置づけ、本協会強化指定選手及び指定競技団体の競技力向上を目指した各種測定やメディカルチェック、心理テスト等の研究を実施し、強化現場にフィードバックを行った。

○本協会強化指定選手等のメディカルチェック・体力測定 of フィードバックの実施

測定の種類等	実施日数	測定者数	成年	少年
健康・体力測定	17日	204人	41人	163人
体力測定	2日	25人	0人	25人
筋力測定	18日	210人	37人	173人
最大酸素摂取量測定	6日	43人	0人	43人
合計	43日	482人	78人	404人

セ) ぐんまオリンピック・パラリンピックチャレンジ事業

○アスリートサポート事業

オリンピック・パラリンピックや国際大会で本県選手が活躍してもらうため、アスリートを支えるトレーナー等に係わる経費の補助並びに、合宿や遠征費用等を補助した。

認定選手 19人

競技名	認定選手数	競技名	認定選手数
スキー	2人	ソフトボール	2人
陸上	2人	ラグビーフットボール	2人
水泳	2人	空手道	2人
ウエイトリフティング	1人	パラリンピック陸上	1人
ハンドボール	2人	パラリンピック水泳	1人
自転車	2人		

○ドリームロード事業

中学生アスリート及びその指導者を強化指定し、競技力向上の意識を高めた。

認定選手 14人

競技名		
スケート	バレーボール	柔道
スキー	体操（体操・新体操）	ソフトボール
陸上	バスケットボール	バドミントン
水泳（競泳）	ハンドボール	
サッカー	卓球	

認定指導者 11人

競 技 名		
スキー	バレーボール	卓球
陸上	体操（体操）	柔道
水泳（競泳）	バスケットボール	トライアスロン
サッカー	ハンドボール	

（２）目指せ！未来のアスリート わくわく運動プロジェクト事業

2028国民体育大会・全国障害者スポーツ大会で活躍が期待される世代の子ども及びその家族を主な対象として、スポーツに親しむファミリーを増やし、「する・みる・支える」といった県民のスポーツ活動を更に豊かなものにするため、親子スポーツ教室や様々な運動体験を実施した。

《第1回》

期 日 平成30年11月25日（日）
会 場 県総合スポーツセンターぐんまアリーナ
内 容 ①親子スポーツ教室
講 師 サムライ・ロック・オーケストラ
②わくわく運動体験
体験種目：アイスホッケー、スキー、ボクシング、新体操
レスリング、空手道、ウエイトリフティング
自転車、ソフトボール、バドミントン、ボッチャ
軽スポーツ

参加者数 子ども 942人

《第2回》

期 日 平成31年1月14日（祝・月）
会 場 県総合スポーツセンター ぐんまアリーナ・サブアリーナ
内 容 ①親子スポーツ教室
講 師 池谷 幸雄氏
②わくわく運動体験
体験種目：スケート、ホッケー、ボクシング、新体操、レスリング
銃剣道、ウエイトリフティング、ソフトテニス、
フェンシング、ソフトボール、バドミントン、
山岳（スポーツクライミング）、ボウリング、
車椅子バスケットボール、車椅子スラローム、
軽スポーツ

参加者数 子ども 852人

《第3回》

期 日 平成31年2月10日（日）
会 場 県立ふれあいスポーツプラザ
内 容 ①親子スポーツ教室
障害者スポーツ体験（車椅子ネットボール、フライングディスク
サウンドテーブルテニス等）
②わくわく運動体験
体験種目：水球、アーティスティックスイミング、
ウエイトリフティング、アーチェリー

参加者数 子ども 187人

10 競技力向上支援に関する事業

（１）オリンピック・パラリンピック選手支援事業

オリンピックや世界大会等において活躍が期待できるが、活動費等が十分でない現役トップアスリートを支援し、本県スポーツの競技力向上を図った。
なお、活動支援の財源は協力企業からの寄付金とした。

支援選手名	競技名	主な成績
倉林 巧和	自転車	アジア選手権大会トラックレース ポイントレース 1位

(2) ぐんまのスポーツ環境整備支援事業

2028年2巡目ぐんま国体の開催が決定し、本県スポーツ選手の発掘及び育成の観点から加盟競技スポーツ団体のスポーツ環境整備を支援し、競技力向上を図る支援をした。

競技団体	内容
県アイスホッケー連盟	ミニゴール（8台）
群馬陸上競技協会	フレキハードルミニ（100台）
県レスリング協会	デジタルタイマー（2組）
県セーリング連盟	レーザー級艇体艀装品一式

(3) 大会等支援事業

各種大会の開催及び海外派遣選手に対し支援することで、県民のスポーツへの興味関心を高め、スポーツの底辺拡大を図った。

ア) 海外派遣選手壮行補助事業

本県選手等が海外競技会（オリンピック・世界選手権・アジア大会等）に参加することは、県民へのスポーツの興味関心を高めるとともに夢と感動を与えることから、海外競技会に参加する選手等に対し、壮行金を交付した。

大会名	交付者数
世界選手権出場者	9人
アジア競技大会出場者	17人
その他の国際競技大会出場者	20人

イ) 県小体研記録会補助事業

県小学校体育研究会が開催する陸上、水泳教室記録会のために補助金を交付し児童のスポーツ普及・育成を図った。

また、県小学校体育研究会のスポーツ指導の資質向上を目的とした研修会等についても支援した。

○第48回小学校水泳教室記録会

期 日 平成30年8月8日（水）

会 場 県立敷島公園水泳場

参加者数 879人

○第47回小学校陸上教室記録会

期 日 平成30年10月28日（日）

会 場 正田醤油スタジアム群馬

参加者数 1,562人

○第10回群馬県小学校体育学習研修会

期 日 平成30年7月25日（水）

会 場 高崎アリーナ

内 容 研修Ⅰ（講演）「これからの小学校体育はこう変わる」

研修Ⅱ（実技研修）「ダンスの作り方講習会」

「子どもが夢中になる表現運動の授業を目指して」

「教員のための『ベースボール型』授業研究会」

参加者数 240人

ウ) 県民体育大会補助事業

県民を対象に開催している県民体育大会の実施競技団体に補助金を交付し大会の支援を行った。

大会名	期 日	会 場	成績及び人数
夏季大会 (水泳)	平成30年 8月19日(日)	県立敷島公園水泳場	優 勝 前橋市 参加者数 529人
秋季大会 (21競技)	平成30年11月 4日(日) ・ 11日(日)	県総合スポーツセンター 他15会場	市の部優勝 前橋市 郡の部優勝 吾妻郡 参加者数 6,516人
冬季大会 (スケート)	平成31年 2月 2日(土)	県総合スポーツセンター 伊香保リンク	優 勝 渋川市 参加者数 235人
冬季大会 (スキー)	平成31年 2月16日(土) ・ 17日(日)	丸沼高原スキー場	優 勝 高崎市 参加者数 299人

(4) スポーツ顕彰事業

本県のスポーツの振興と発展に貢献した個人・団体の功績を讃え、競技力の向上とスポーツの振興及び郷土意識の高揚に資することを目的に下記の表彰を行った。

○群馬県スポーツ協会長賞表彰

期 日	平成31年 2月23日(土)	
会 場	県総合スポーツセンター	
受賞者数	特別賞	1人
	スポーツ功労者賞	44人
	最優秀選手賞及び最優秀指導者賞	131人
	優秀選手賞	267人
	ジュニアスポーツ奨励賞	126人
	合 計	569人
	感謝状	23団体

IV 本協会の運営

1 理事会等の運営

	会議等名	期 日	議事等
理 事 ・ 評 議 員 会	第26回理事会(臨時)	平成30年 4月10日(火)	代表理事選定(書面決議)
	第27回理事会(通常)	平成30年 5月30日(水)	平成29年度事業報告及び決算、副会長の選定、理事候補者・顧問の推薦、委員会委員の委嘱、県スポーツ少年団副本部長の承認、日本スポーツ協会評議員の推薦、諸規程の改正、第14回評議員会の招集
	第28回理事会(臨時)	平成31年 1月16日(水)	平成30年スポーツ協会長賞選考、第15回評議員会の招集
	第29回理事会(通常)	平成31年 3月15日(金)	平成31年度事業計画及び予算、評議員候補者の推薦、委員会規程の改正
	第13回評議員会(臨時)	平成30年 4月10日(火)	理事の選任(書面決議)
	第14回評議員会(定時)	平成30年 6月14日(木)	平成29年度事業報告及び決算、評議員・理事の選任、諸規程の改正
	第15回評議員会(臨時)	平成31年 3月22日(金)	平成31年度事業計画及び収支予算、評議員の選任

委員	総務委員会	平成30年 5月23日(水)	平成29年度事業報告及び決算、副会長・理事・少顧問・副会長・本規程の改正、表彰、候補者
		平成31年 1月16日(水)	平成30年スポーツ協会賞の選考
		平成31年 3月13日(水)	平成31年度事業計画及び収支予算、評議員候補者、委員会規程の改正
	生涯スポーツ推進委員会	平成30年 7月26日(木)	県民体育大会の交付金等・日協公認スポーツ指導者等表彰候補者の推薦
		平成31年 2月28日(木)	平成31年度生涯スポーツ関係事業
	選手強化委員会	平成30年 4月13日(金)	平成30年度競技力向上対策費団体対策推進事業費、ぐんまオリンピックピック・パラリンピックチャレンジ事業選手指導者選考、平成30年度強化指定選手及び運動部(冬季競技)等
		平成30年 7月5日(木)	第73回国体本大会等支援スタッフ、国体に向けての激励計画等
		平成30年 9月5日(水)	平成30年度強化指定選手及び運動部等
		平成30年10月31日(水)	平成30年度強化指定選手の追加等
		平成31年 2月8日(金)	ぐんまスーパーキッズ2019新規実施競技並びに実施継続期間等
		平成31年 3月14日(木)	平成31年度競技力向上対策費予算、競技スポーツ推進計画、競技力向上対策事業計画、2019年度オリンピック・パラリンピック選手支援事業等
	会	国民体育大会推進委員会	平成30年 6月27日(水)
平成30年 8月21日(火)			第73回国民体育大会本大会選手団第1次選考等
平成30年 8月31日(金)			第73回国民体育大会本大会選手団第2次選考等
平成31年 1月4日(金)			第74回国民体育大会冬季大会スケート・アイスホッケー競技会選手団選考等
平成31年 1月23日(水)			第74回国民体育大会冬季大会スキー競技会選手団選考等
スポーツ医科学委員会	平成30年 7月11日(水)	平成29年度事業報告・平成30年度AT養成講習会等について	
	平成31年 3月7日(木)	平成31年度事業計画等について	
諸会	加盟競技団体等理事長・事務担当者・選手強化担当者合同会議	平成30年 4月20日(金)	平成30年度事業計画及び予算、その他諸事業について
	監事監査	平成30年 5月15日(火)	平成29年度事業報告及び決算に係る会計監査
	第73回国民体育大会本大会競技力検討会議	平成30年11月14日(水) 15日(木) 16日(金) 20日(火)	第73回国民体育大会の勝因と敗因、第74回国民体育大会に向けての強化計画、第83回国民体育大会を見据えての

議 等		21日(水) 22日(木) 27日(火)	強化計画
	平成31年度競技団体別 選手強化担当者会議	平成31年 3月 6日(水)	平成31年度競技力調査
	第74回国民体育大会冬季 大会競技力検討会議	平成31年 3月 8日(金)	第74回国民体育大会冬季大会の勝 因と敗因 第75回国民体育大会冬季大会に向 けての強化計画 第83回国民体育大会冬季大会を見 据えての強化計画

2 事務局の運営

(1) 加盟団体及び群馬県との連携

(2) 本協会が実施する事業推進のため、自主財源の確保に努めた。

ア) 賛助会員の募集実績

73件 1,105,000円

イ) オリンピック・パラリンピックに向けての選手競技力向上事業における寄付金の募集実績

16件 2,440,000円

ウ) ぐんまのスポーツ環境整備等支援事業における寄付金の募集実績

2件 2,000,000円